

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット10頁 —

3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ① 中核遺跡 《五郎沼経塚(3)》

上記文献で個人宅にあるとされる「青銅筒」、「直刀(短刀)」と小学校に保管とされる「経文」は現在、行方不明ですが、赤石小学校には五郎沼経塚の「経瓶」と推測される須恵器系陶器壺と、小学校保管の「経筒」とも推測される素焼きの筒型土製品が保管されています(両品とも現在は紫波町教育委員会蔵)。須恵器系陶器壺は12世紀後半のもので、五郎沼経塚が奥州藤原氏の時代の経塚である証拠になります。素焼きの筒型土製品は、底部がなく一般的な経筒には当てはまらず、また他の経塚での類例が見当たらないものですが、「経筒」とのラベルが貼ってあり、上記の昭和9年の郷倉建設の際に出土した「素焼経筒」の可能性が高いと考えられます。(次号に続く)

《《《 4～5月行事予定のお知らせ 》》》

4月10日 (日曜日)	平成28年度定期総会 * 27年度事業報告・決算 * 28年度事業計画・予算他	午後2時から午後5時まで 赤石公民館 総会 14:00～15:00 (受付開始13:30～) 懇親会 15:00～17:00 会費1,000円(当日受付)
4月20日 (水曜日)	第71回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：金濱興一 テーマ：高水寺2 発表者：平井和夫 テーマ：吾妻鏡にみる奥州平泉2
5月18日 (水曜日)	第72回月例懇話会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者：平井和夫 テーマ：吾妻鏡にみる奥州平泉3 発表者： テーマ：
<p>《《《《 予告 》》》》</p> <p>第16回 定期講演会 6月12日(日曜日) 午後2時から 講師 羽柴直人先生 演題 比爪館関連遺跡について(仮題)</p>		

◆◆◆ 会員投稿 ◆◆◆

3月16日の夜、紫波町教育委員会の発掘調査報告会が開かれました。約400㎡の調査区から見つかったのは、掘立柱建物跡9、塀跡2、柱穴跡500以上などで、かわらけ15箱や中国産陶磁器、国産陶器なども出ていました。四面庇建物になりそうな建物もあるようです。平泉でも柳之御所だけで発掘され、比爪館では出ていない黄釉陶器盤も発見されていました。

鈴木賢治調査員さん本当にご苦労様でした。鈴木さんの仮説そのとおりでと思います。だって、私たちは「初代清綱の拠点は北上川の辺り、船溜りの近くでは？」と、いつも話し合っていたんですから。そして「樋爪太郎俊衡の弟、次郎・三郎・四郎の拠点が奥大道のどこかに？」の仮説が、最近「釜石の川原遺跡や宮古の田鎖車堂前遺跡などの三陸沿岸部では？」と唱えはじめる人も出ているんです。発掘調査の結果を待つ楽しみが尽きない思いでした。

比爪館 第8次・19～22次発掘調査概報 <紫波町教育委員会(平成16年3月31日発行)>

【第21次発掘調査】

要項

〔場所〕比爪館北端東よりの段上から段下にかけての部分

〔面積〕123㎡ 〔調査員〕桜井芳彦

調査に至る経過

個人住宅建設にともなう。現代の厚い盛土の下から、近代以降と推定される小規模な掘立柱建物跡を検出し、より下層の旧表土と推定される黒色土中より若干のかわらけが出土した。現場では詳細を記録保存したが、本書は出土遺物(写真4点、実測図15点)の掲載のみとした。

【第22次発掘調査】

要項

〔場所〕比爪館西端やや南よりの段下部分

〔面積〕94㎡ 〔調査員〕桜井芳彦

調査に至る経過

個人住宅建設にともない、発掘調査を実施。記録保存とともに、住宅建設にあたっては盛土をしてもらい、調査後も遺構面に掘削が及ばないような施工としてもらった。



第22次調査区全景 西から

検出遺構

重機をもちいて25～30cmほどの表土を除去、地山土層にて井戸跡1基、小ピット3基を検出した。また調査区西端にて岸跡を検出したが、これは比爪館の西北東三方を囲む大溝の南西端部分に当たるものと思われる。対岸は調査区内では検出されなかったが、過去の大溝調査例とはことなる部分も多く、比爪館期に流入していたであろう赤持川(現在今調査区北端から東端を流れ、五郎沼北部へ流入)、山吹川(五郎沼南部へ流入)などが流入する五郎沼の汀線であった可能性もある。

大溝岸跡 調査区西半部において北西から南東に走る岸跡を検出した。その位置と方向から、第9・10次および13次調査で検出した、比爪館の三方をめぐると思われる大溝の南西端と推定した。法面は複数の段を形成しているが、覆土堆積の観察では過去の調査で見られたような粘土貼りがより顕著に認められ、覆土の形態からも後世の水田化等による攪乱とは考えにくい。より西側は、底面からの立ち上がり等がないまま調査区外へと広がっており、その実態は不明である。底面は現地表(水田耕作面)より65cm前後の深さでほぼ平らになっている。断面図に記す第5層以上はその土質から後世の水田耕作にともなう堆積と考えられるが、水田床面は確認できない。8層以下は粘質の泥土層であり水成の堆積土と思われるが、遺物の出土もなく、堆積の時期は不明。

会 員 募 集 !!

若い方も年配者も、男性・女性どなたでも、初めての人でも大歓迎

◎月例発表会 毎月(講演会を行う月を除く)第3水曜日 午後7時から9時まで 赤石公民館

◎定期講演会 年2回(6月・12月) ◎遺跡めぐり等(春・夏・秋) ◎会員研修旅行 年1回

◎関連団体と各種行事の共催、後援、協賛等

年会費 2,000円

加入申込書は、赤石公民館にあります。詳細は019-3125-3776(高橋)まで